

2014年3月期
(第2四半期累計期間)
連結決算説明資料

双葉電子工業株式会社

2013年11月8日

目次

- 経営施策の状況 P 1 ~ 4
- 連結決算のポイント P 5
- 業績ダイジェスト P 6 ~ 7
- 営業利益増減分析 P 8
- セグメント別業績状況 P 9 ~12
- 四半期別業績推移 P13 ~14
- 貸借対照表の概要 P15
- キャッシュ・フロー P16
- 業績見通し P17 ~19

経営施策の状況(1)事業拡大施策

電子部品事業

- モバイル関連、純正車載向け有機ELディスプレイの販売推進
- 超薄型フィルムタイプの開発による有機ELディスプレイの用途拡大
- 有機EL用乾燥剤(OleDry-F)の機能向上による用途拡大
- 車載向けタッチパネルのグローバル市場への展開加速
- 米国子会社の工場拡張による基板実装事業の拡大



超薄型フィルムタイプ
有機ELディスプレイ



車載向けタッチパネル
(株式会社JVCケンウッド殿ご提供)



米国子会社
(ハンツビル工場)

経営施策の状況(1)事業拡大施策

電子機器事業

- ロボット用機能部品の大手パートワーク(分冊百科)販売会社への拡販継続
- バイク用リモコンや農業用無線機器の拡販
- コマンド方式サーボモーターやアクチュエータの新分野への展開
- ソリューション提案による新用途開拓と事業領域の拡大(地域情報告知システムの展開)
- トップフライヤーの知名度、ノウハウを活かした機体開発と販売開始



ロボット用機能部品
(コマンド方式サーボモーター)



農業用無線機器
(ヤマハ発動機株式会社殿ご提供)



スカイリーフ
(模型飛行機組立キット)

生産器材事業

- 韓国子会社のタブレット端末向け金型需要増加に伴う生産ラインの増強
- アセアン市場での拡販に向けたインドネシア子会社の販売開始とタイおよびベトナム子会社の生産能力拡充
- 韓国子会社の大型モールドベースの販売強化
- モールドマーシャリングシステムの製品ラインアップ拡充と海外市場展開の加速
- ECサイトの機能拡充によるモールドベースとプレートの販売拡大



インドネシア子会社



ベトナム子会社
(新工場)



ECサイト画面
(モールドベース)

経営施策の状況(2) 継続的な収益改善施策

電子部品事業

- 蛍光表示管の生産拠点の統廃合による生産効率の向上
- タッチパネルおよび有機ELディスプレイの海外生産拠点立上げによるコスト低減
- 最適地調達の体制構築によるコスト低減

電子機器事業

- 中国子会社の生産性向上および現地調達率引き上げによるコスト競争力強化
- 国内子会社の構造改革と物流統合によるコスト低減
- 台湾子会社への開発業務の移管による製品投入の迅速化

生産器材事業

- 国内生産拠点の構造改革による収益力の改善
- 鋼材のグローバル調達の推進によるコスト低減
- ロボット生産の対応サイズ拡充による生産効率の向上

連結決算のポイント

■ 連結売上高

主にアジア市場が好調に推移したことや、円安による為替の好影響により、前年同期に対して17億円増収

■ 連結営業利益

構造改革実施による固定費の減少などにより、前年同期に対して10億円増益

■ 連結当期純利益

営業利益の増益に加え、円安の影響による外貨建資産・負債の評価に伴う為替差益3億円を営業外収益に計上したことなどにより、9億円の最終利益となる

業績ダイジェスト(1)

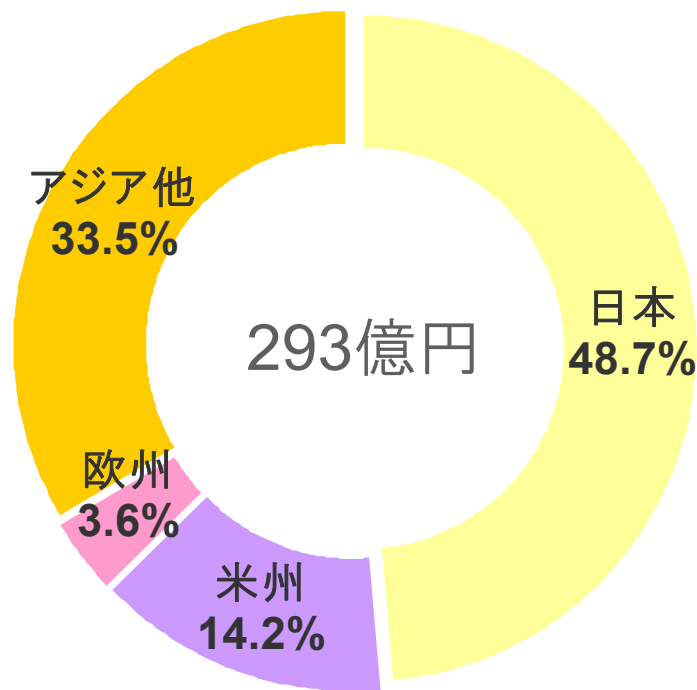
(金額単位:百万円)

	'12年度		'13年度		'13年度 計画比		前年同期比(上期対比)		前期比(下期対比)	
	4-9(実績)	10-3(実績)	4-9(計画)	4-9(実績)	増減額	比率	増減額	比率	増減額	比率
売上高	29,328	28,772	30,100	30,995	895	103.0%	1,666	105.7%	2,223	107.7%
営業利益	▲143	▲1,215	950	872	▲77	91.8%	1,015	—	2,087	—
利益率(%)	(▲0.5)	(▲4.2)	(3.2)	(2.8)						
(為替差損益)	(▲617)	(1,825)	(▲373)	266	639	—	883	—	▲1,559	14.6%
経常利益	▲379	1,034	950	1,642	692	172.9%	2,021	—	608	158.8%
利益率(%)	(▲1.3)	(3.6)	(3.2)	(5.3)						
税引前当期純利益	▲718	▲4,441	850	1,598	748	188.1%	2,316	—	6,039	—
利益率(%)	(▲2.4)	(▲15.4)	(2.8)	(5.2)						
当期純利益	▲1,262	▲4,860	100	916	816	916.4%	2,179	—	5,777	—
利益率(%)	(▲4.3)	(▲16.9)	(0.3)	(3.0)						
設備投資	2,677	4,038	2,700	2,793	93	103.5%	116	104.3%	▲1,245	69.2%
減価償却費	1,501	1,685	1,800	1,722	▲77	95.7%	221	114.8%	37	102.2%
研究開発費	1,112	1,110	1,000	1,054	54	105.5%	▲57	94.8%	▲55	95.0%
国内	1,609人	1,589人	1,412人	1,398人	▲14人		▲211人		▲191人	
海外	4,031人	3,838人	3,658人	3,678人	20人		▲353人		▲160人	
人 員	5,640人	5,427人	5,070人	5,076人	6人		▲564人		▲351人	
平均為替レート	79円/\$	86円/\$	90円/\$	98円/\$	8円/\$		19円/\$		12円/\$	

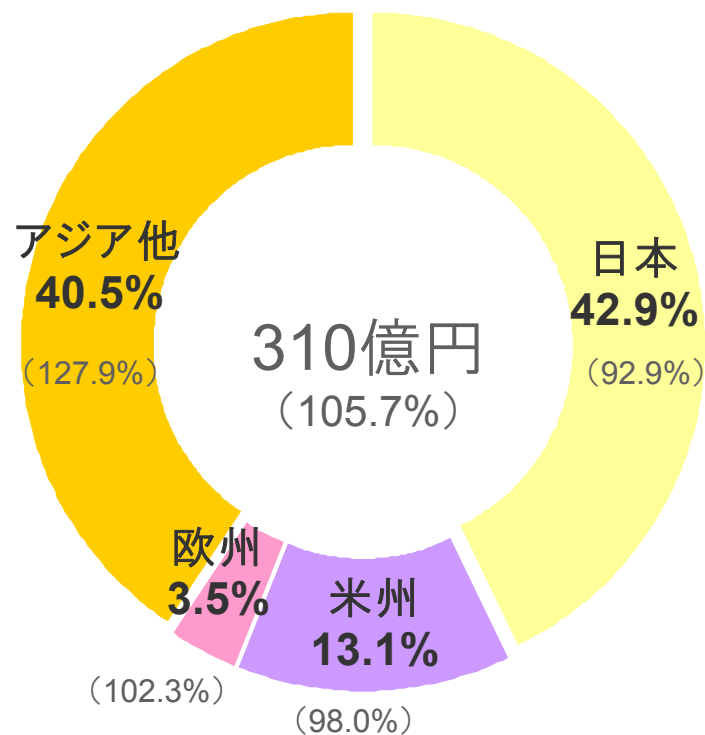
業績ダイジェスト(2)

市場地域別売上高構成比

※()内は前年同期比



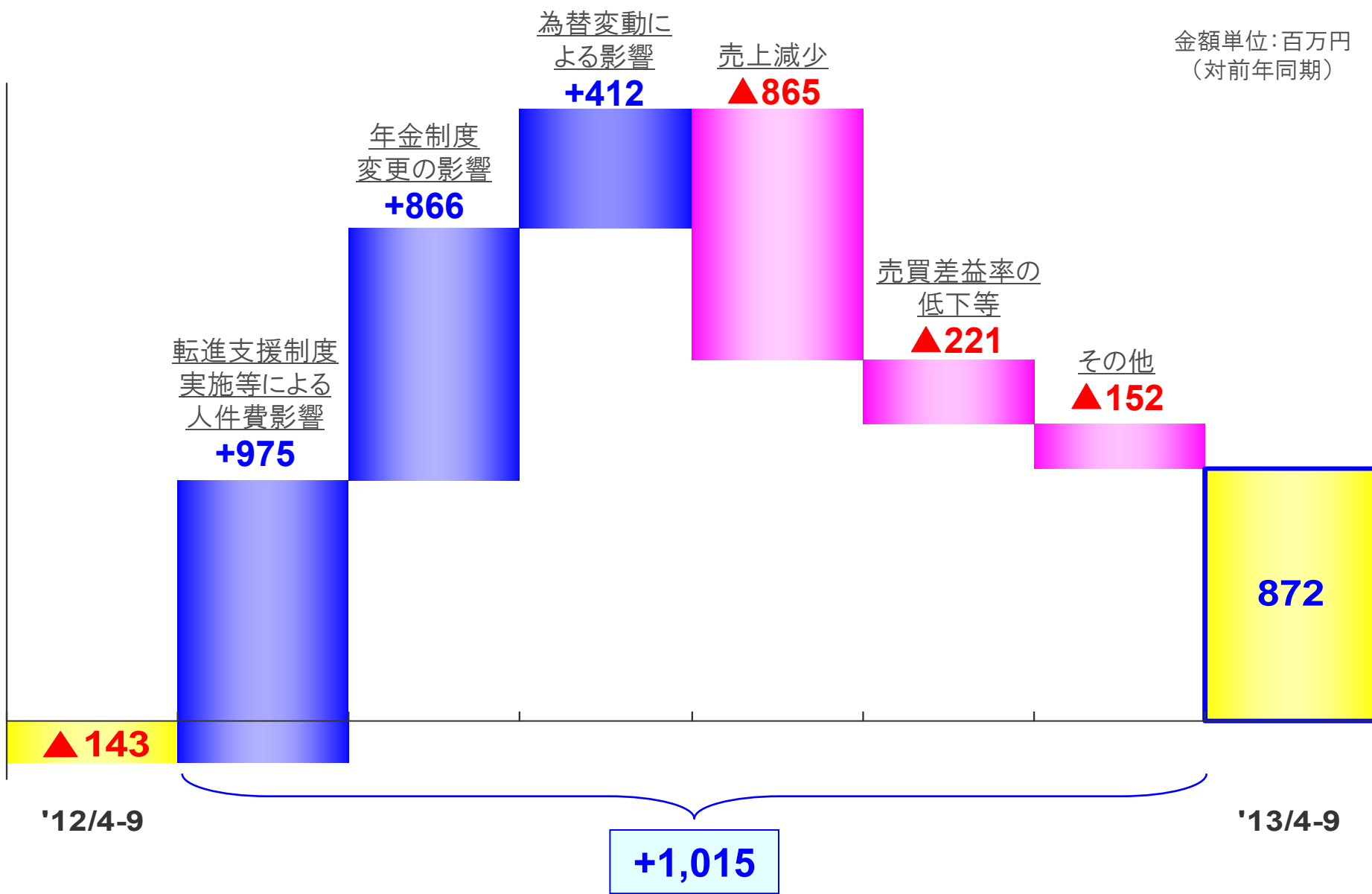
'12/4-9



'13/4-9

営業利益増減分析

金額単位：百万円
(対前年同期)



セグメント別業績状況（電子部品事業）

（金額単位：百万円）

	'12年度		'13年度		'13年度 計画比		前年同期比(上期対比)		前期比(下期対比)	
	4-9(実績)	10-3(実績)	4-9(計画)	4-9(実績)	増減額	比率	増減額	比率	増減額	比率
売上高	11,496	11,027	11,000	11,725	725	106.6%	228	102.0%	698	106.3%
営業利益	▲962	▲1,769	▲650	▲994	▲344	—	▲32	—	774	—
利益率(%)	(▲8.4)	(▲16.0)	(▲5.9)	(▲8.5)						
設備投資	1,715	1,265	1,300	1,504	204	115.7%	▲210	87.7%	239	118.9%
減価償却費	641	712	900	779	▲120	86.6%	138	121.5%	66	109.3%
研究開発費	759	765	600	681	81	113.6%	▲77	89.8%	▲84	89.0%

※ セグメント別の売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

- 蛍光表示管は、海外市場で音響用途が順調に推移したものの、海外・国内市場共に車載用途が伸び悩み、売上げは前年同期を下回る。
- 蛍光表示管モジュールは、主力であるPOS用途が低迷したものの、計測器用途やノンディスプレイモジュールが伸長し、売上げは前年同期を上回る。
- 有機ELディスプレイは、当期から車載用途へ本格参入したものの、主力である通信機器用途が低迷し、売上げは前年同期を下回る。
- タッチパネルは、家電用途に加え車載用途が大幅に伸長し、売上げは前年同期を上回る。

セグメント別業績状況（電子機器事業）

（金額単位：百万円）

	'12年度		'13年度		'13年度 計画比		前年同期比(上期対比)		前期比(下期対比)	
	4-9(実績)	10-3(実績)	4-9(計画)	4-9(実績)	増減額	比率	増減額	比率	増減額	比率
売上高	3,522	3,389	3,600	4,367	767	121.3%	845	124.0%	977	128.8%
営業利益 利益率(%)	344 (9.8)	141 (4.2)	450 (12.5)	871 (20.0)	421	193.8%	527	253.4%	730	617.1%
設備投資	38	164	100	103	3	104.0%	65	267.6%	▲60	63.2%
減価償却費	135	145	100	100	0	100.1%	▲35	73.8%	▲45	68.6%
研究開発費	165	149	200	173	▲26	87.0%	8	105.2%	24	116.4%

※ セグメント別の売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

- ホビー用ラジコン機器は、海外・国内市場共に消費マインドに大きな改善がみられず、各種拡販キャンペーンの実施や模型飛行機組立キット「スカイリーフ」を市場投入するなど需要喚起に努めたものの、売上げは前年同期並みとなる。
- 産業用ラジコン機器は、トラッククレーン向けの需要がやや落ち着いてきたものの、農業関連向けのテレコントロール製品が順調に推移し、バイク用リモコンの販売も伸びたことから、売上げは前年同期を上回る。
- ロボット用機能部品は、大手パートワーク(分冊百科)販売会社に供給しているコマンド方式サーボモーターが好調に推移したことから、売上げは前年同期を上回る。

セグメント別業績状況 (生産器材事業)

(金額単位:百万円)

	'12年度		'13年度		'13年度 計画比		前年同期比(上期対比)		前期比(下期対比)	
	4-9(実績)	10-3(実績)	4-9(計画)	4-9(実績)	増減額	比率	増減額	比率	増減額	比率
売上高	14,310	14,355	15,500	14,908	▲591	96.2%	597	104.2%	552	103.8%
営業利益	475	413	1,150	995	▲154	86.6%	520	209.5%	582	240.7%
利益率(%)	(3.3)	(2.9)	(7.4)	(6.7)						
設備投資	922	2,608	1,300	1,184	▲115	91.1%	261	128.4%	▲1,423	45.4%
減価償却費	724	826	800	843	43	105.4%	119	116.4%	16	102.1%
研究開発費	188	195	200	199	▲0	99.6%	11	105.9%	3	101.9%

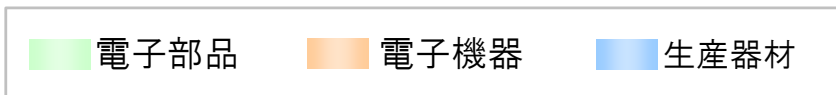
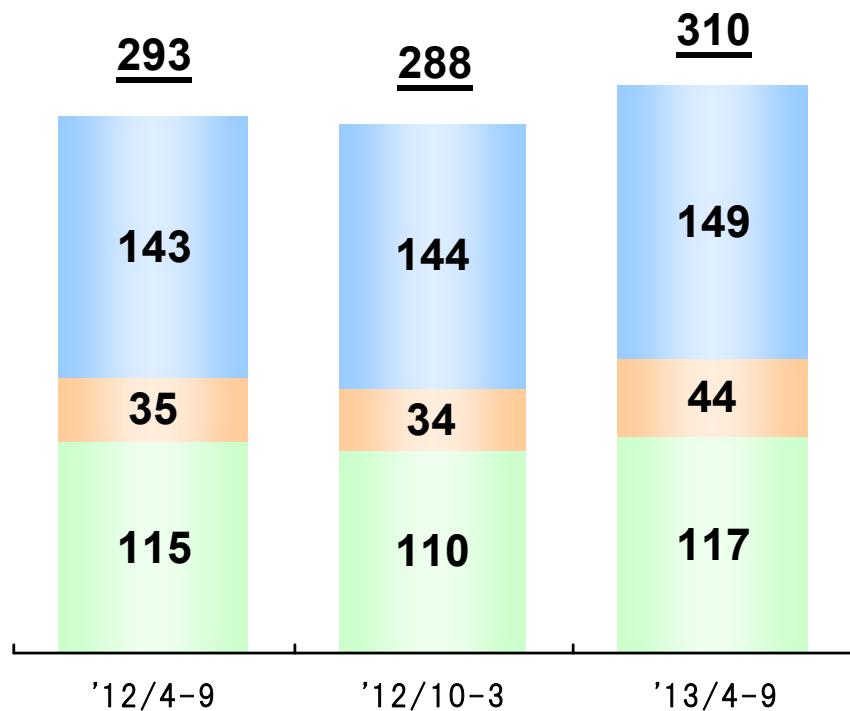
※ セグメント別の売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

- 国内では、プレジジョンプレートの価格改定による拡販活動の推進やモールドマーシャリングシステムなどの成形合理化関連製品のラインアップを拡充したものの、国内金型市場の減速から、売上げは前年同期を下回る。
- 海外では、韓国市場においてタブレット端末向けや自動車向けの需要が増加したことから、売上げは前年同期を上回る。

セグメント別業績状況

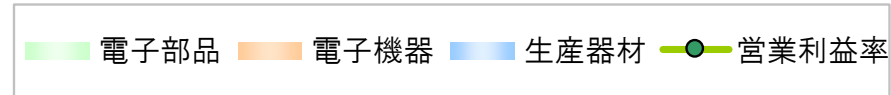
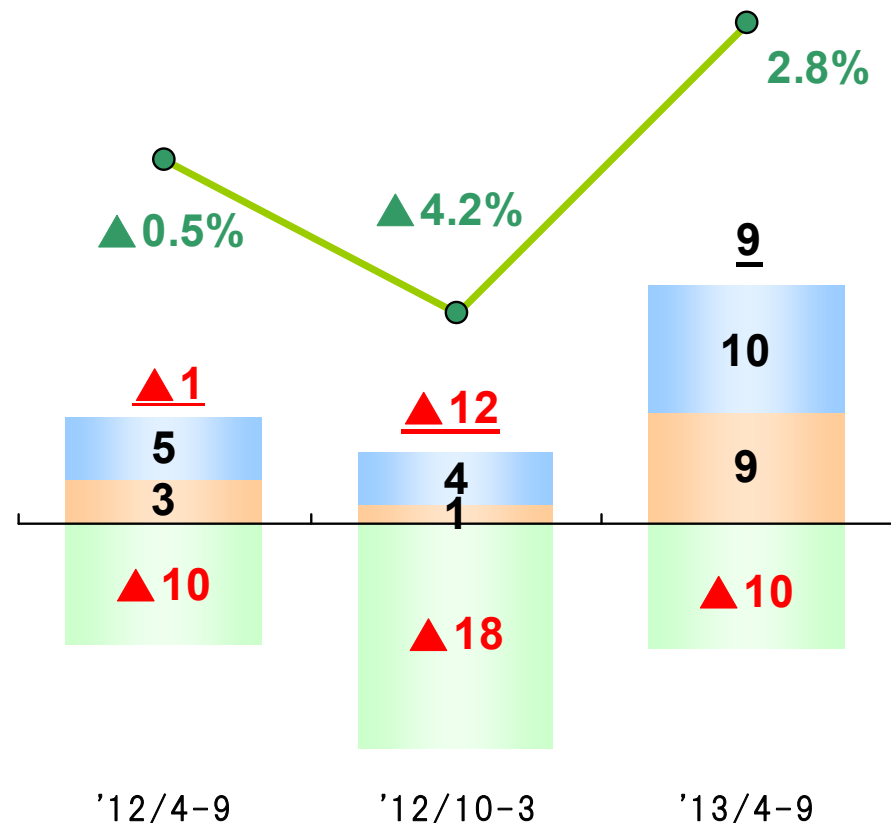
売上高

金額単位：億円



営業利益

金額単位：億円



※ 各セグメントの売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

四半期別業績推移 (1)

(金額単位:百万円)

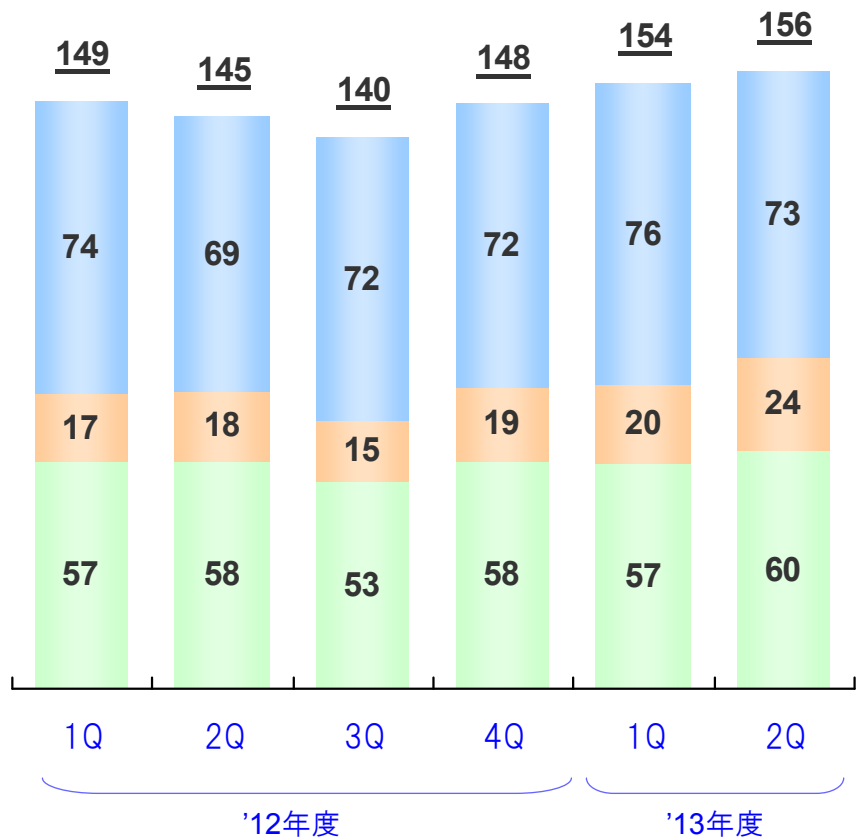
	'12年度				'13年度		前年同期比		直前四半期比	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	増減額	比率	増減額	比率
電子部品	5,743	5,753	5,266	5,761	5,711	6,014	261	104.5%	303	105.3%
電子機器	1,734	1,788	1,514	1,874	1,997	2,370	581	132.5%	372	118.6%
生産器材	7,378	6,932	7,197	7,158	7,648	7,259	327	104.7%	▲388	94.9%
売上高	14,855	14,472	13,978	14,793	15,352	15,643	1,170	108.1%	291	101.9%
電子部品 利益率(%)	▲705 (▲12.3)	▲257 (▲4.5)	▲841 (▲16.0)	▲927 (▲16.1)	▲479 (▲8.4)	▲515 (▲8.6)	▲257	—	▲35	—
電子機器 利益率(%)	155 (9.0)	188 (10.6)	74 (4.9)	66 (3.6)	327 (16.4)	544 (23.0)	355	288.2%	216	165.9%
生産器材 利益率(%)	260 (3.5)	215 (3.1)	98 (1.4)	315 (4.4)	610 (8.0)	385 (5.3)	169	179.0%	▲225	63.0%
営業利益 利益率(%)	▲289 (▲1.9)	146 (1.0)	▲669 (▲4.8)	▲545 (▲3.7)	459 (3.0)	413 (2.6)	266	282.1%	▲45	90.0%
(為替差損益)	(▲343)	(▲274)	(1,024)	(801)	(427)	(▲161)	(112)	—	(▲589)	—
経常利益 利益率(%)	▲472 (▲3.2)	93 (0.6)	560 (4.0)	473 (3.2)	1,172 (7.6)	470 (3.0)	377	505.6%	▲701	40.1%
四半期純利益 利益率(%)	▲708 (▲4.8)	▲554 (▲3.8)	448 (3.2)	▲5,309 (▲35.9)	742 (4.8)	173 (1.1)	728	—	▲569	23.4%
平均為替レート	80円/\$	78円/\$	81円/\$	91円/\$	98円/\$	98円/\$	20円/\$		—	
期末為替レート	79円/\$	78円/\$	87円/\$	94円/\$	99円/\$	98円/\$	20円/\$		▲1円/\$	

※ 各セグメントの売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

四半期別業績推移(2)

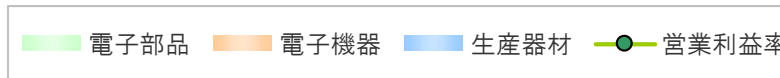
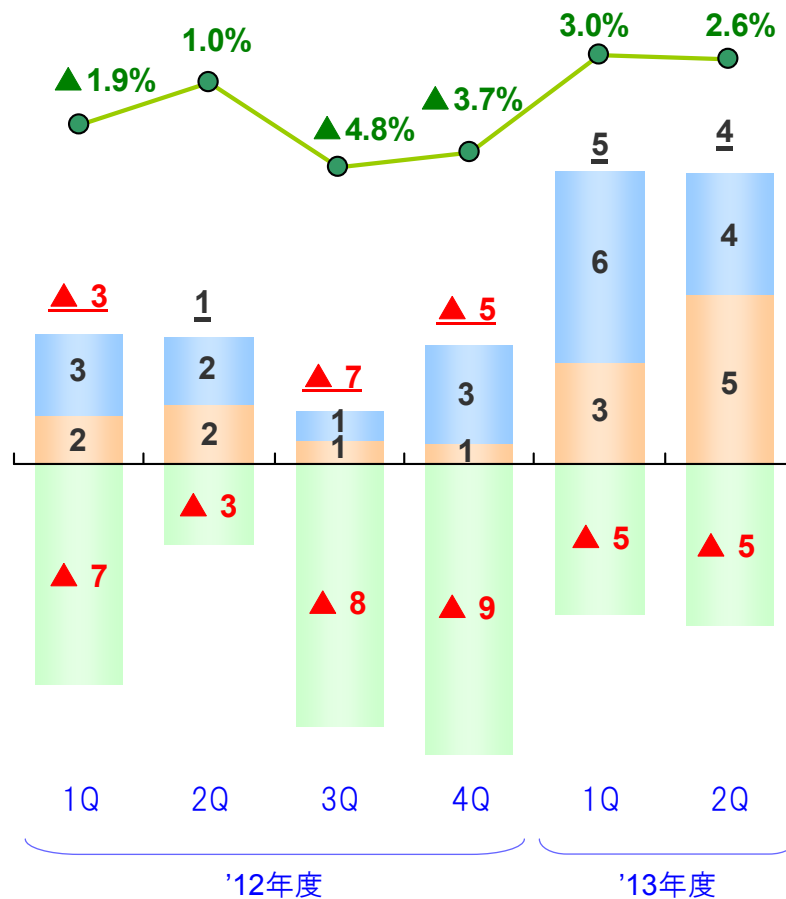
売上高

金額単位: 億円



営業利益

金額単位: 億円

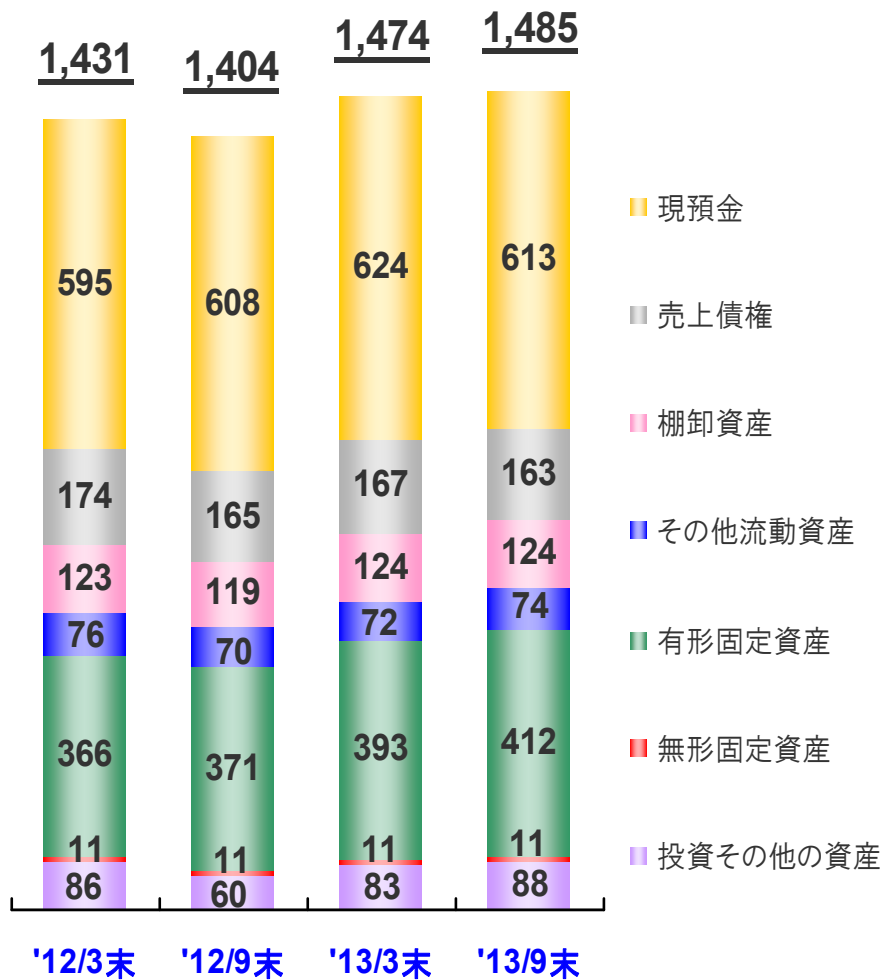


※ 各セグメントの売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

貸借対照表の概要

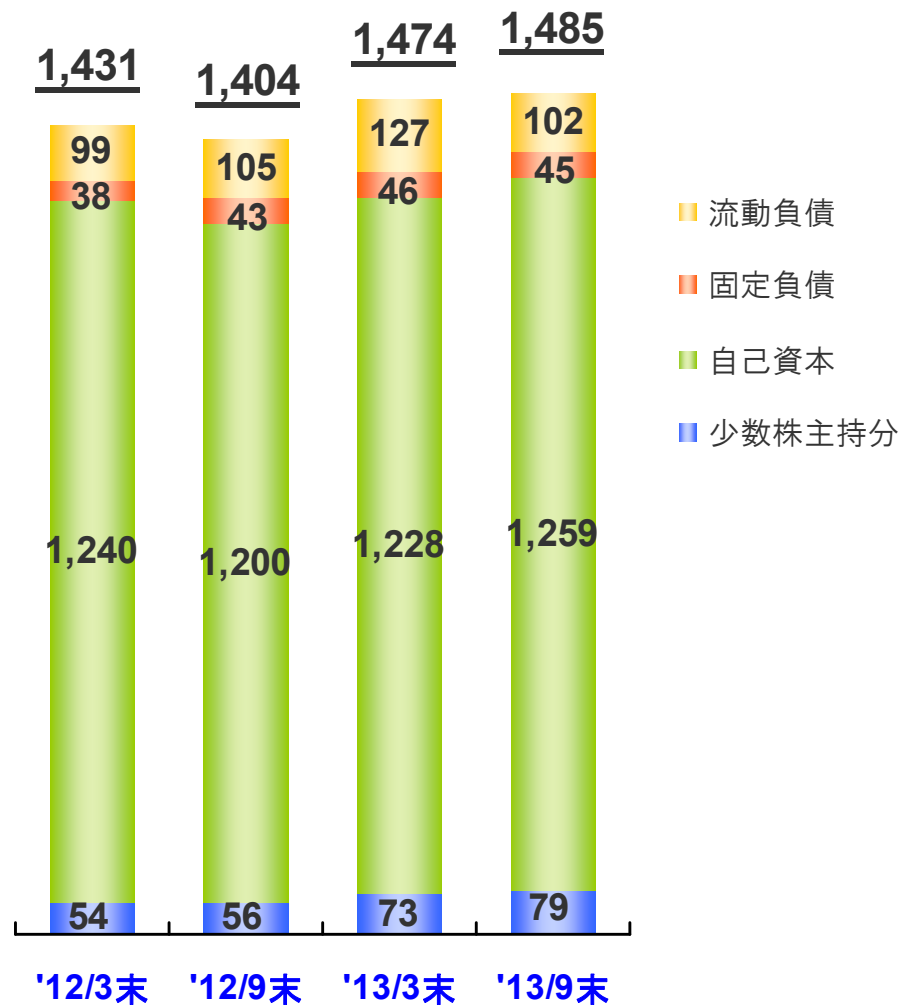
資産

金額単位：億円



負債・純資産

金額単位：億円



キャッシュ・フロー

(金額単位:百万円)

		'12年度 ('12/4~9)	'13年度 ('13/4~9)	増減額	'12年度 (通期)
税金等調整前当期純利益		▲718	1,598	2,316	▲5,159
減価償却費		1,501	1,722	221	3,186
運転資金の増減	売上債権	706	780	73	1,703
	棚卸資産	234	461	226	1,152
	仕入債務	352	64	▲287	▲2,012
その他 (※)		406	▲4,431	▲4,838	5,264
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		2,483	197	▲2,286	4,134
定期預金の増減		▲366	818	1,184	1,543
有形固定資産の取得・売却		▲1,925	▲2,164	▲239	▲5,334
投資有価証券の取得・売却		600	100	▲500	385
その他		162	181	19	▲229
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		▲1,529	▲1,064	464	▲3,634
借入金の増減		330	▲7	▲338	337
配当金の支払		▲533	▲444	88	▲1,066
その他		81	▲234	▲315	64
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		▲121	▲686	▲564	▲664
現金及び現金同等物に係る換算差額		▲701	873		1,564
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		6	—		6
現金及び現金同等物	期首残高	41,146	42,552		41,146
	期末残高	41,284	41,872		42,552
	増減額	137	▲679		1,405

(※)主な要因 '13年度('13/4~9): ▲2,802百万円(転進支援費用の支払)、 ▲555百万円(特別退職金の支払)

業績見通し(1)

(金額単位:百万円)

	'12年度			'13年度			前期比	
	4-9(実績)	10-3(実績)	通期(実績)	4-9(実績)	10-3(計画)	通期(計画)	増減額	比率
電子部品	11,496	11,027	22,524	11,725	11,374	23,100	575	102.6%
電子機器	3,522	3,389	6,912	4,367	4,432	8,800	1,887	127.3%
生産器材	14,310	14,355	28,666	14,908	15,791	30,700	2,033	107.1%
売上高	29,328	28,772	58,100	30,995	31,604	62,600	4,499	107.7%
電子部品 利益率(%)	▲962 (▲8.4)	▲1,769 (▲16.0)	▲2,732 (▲12.1)	▲994 (▲8.5)	▲1,005 (▲8.8)	▲2,000 (▲8.7)	732	—
電子機器 利益率(%)	344 (9.8)	141 (4.2)	485 (7.0)	871 (20.0)	728 (16.4)	1,600 (18.2)	1,114	329.6%
生産器材 利益率(%)	475 (3.3)	413 (2.9)	889 (3.1)	995 (6.7)	1,304 (8.3)	2,300 (7.5)	1,410	258.6%
営業利益 利益率(%)	▲143 (▲0.5)	▲1,215 (▲4.2)	▲1,358 (▲2.3)	872 (2.8)	1,027 (3.3)	1,900 (3.0)	3,258	—
(為替差損益)	(▲617)	(1,825)	(1,208)	(266)	(▲761)	(▲495)	(▲1,703)	—
経常利益 利益率(%)	▲379 (▲1.3)	1,034 (3.6)	655 (1.1)	1,642 (5.3)	557 (1.8)	2,200 (3.5)	1,544	335.7%
税引前当期純利益 利益率(%)	▲718 (▲2.4)	▲4,441 (▲15.4)	▲5,159 (▲8.9)	1,598 (5.2)	501 (1.6)	2,100 (3.4)	7,259	—
当期純利益 利益率(%)	▲1,262 (▲4.3)	▲4,860 (▲16.9)	▲6,123 (▲10.5)	916 (3.0)	▲216 (▲0.7)	700 (1.1)	6,823	—
平均為替レート	79円/\$	86円/\$	83円/\$	98円/\$	91円/\$	94円/\$	11円/\$	

※ 各セグメントの売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

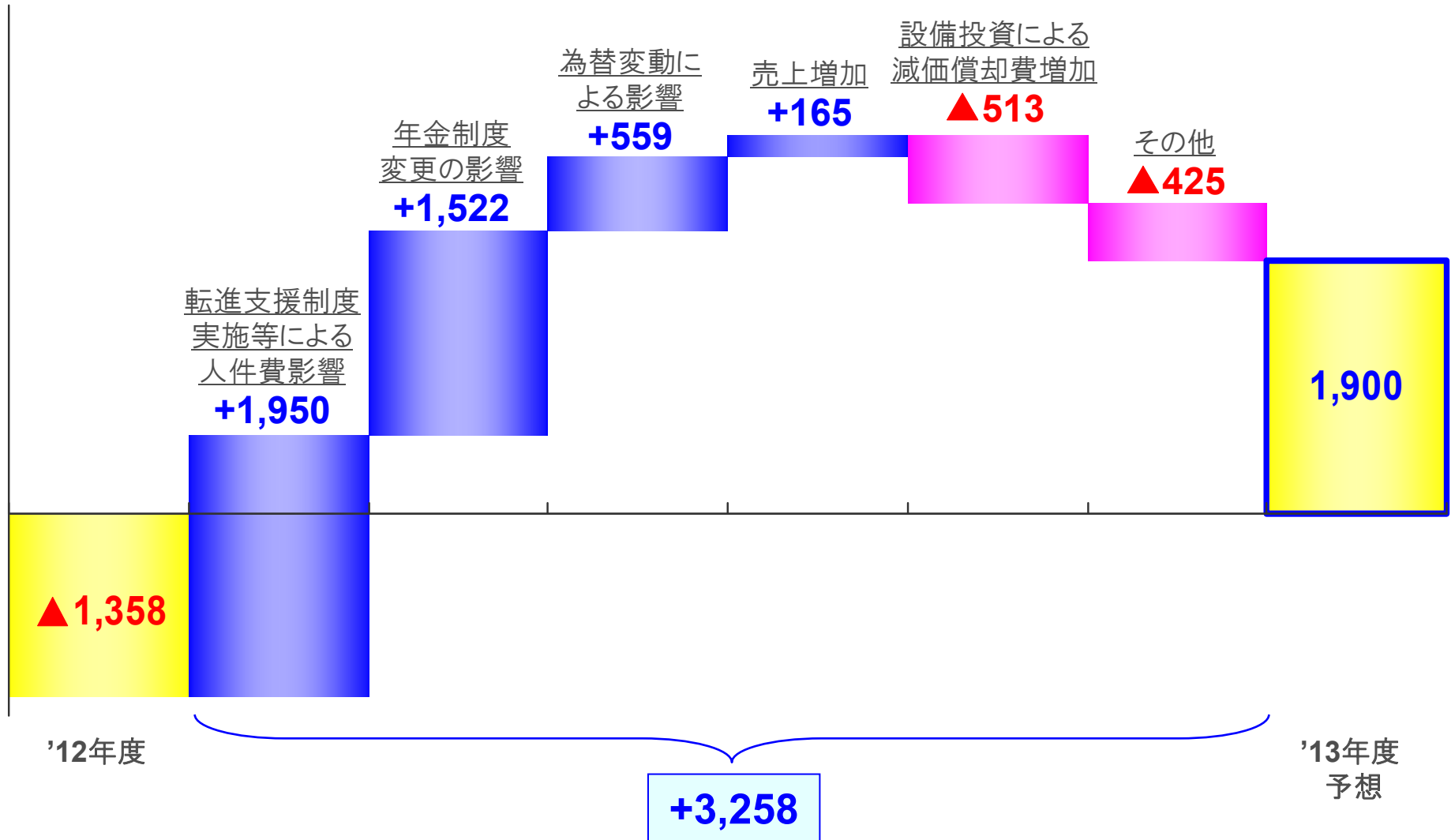
業績見通し(2)

(金額単位:百万円)

	'12年度			'13年度			前期比	
	4-9(実績)	10-3(実績)	通期(実績)	4-9(実績)	10-3(計画)	通期(計画)	増減額	比率
電子部品	1,715	1,265	2,980	1,504	2,295	3,800	819	127.5%
電子機器	38	164	203	103	96	200	▲3	98.4%
生産器材	922	2,608	3,531	1,184	2,315	3,500	▲31	99.1%
設備投資	2,677	4,038	6,715	2,793	4,706	7,500	784	111.7%
電子部品	641	712	1,354	779	920	1,700	345	125.5%
電子機器	135	145	281	100	99	200	▲81	71.1%
生産器材	724	826	1,550	843	956	1,800	249	116.1%
減価償却費	1,501	1,685	3,186	1,722	1,977	3,700	513	116.1%
電子部品	759	765	1,525	681	618	1,300	▲225	85.2%
電子機器	165	149	314	173	126	300	▲14	95.3%
生産器材	188	195	383	199	200	400	16	104.3%
研究開発費	1,112	1,110	2,223	1,054	945	2,000	▲223	90.0%
国内	1,609人	1,589人	1,589人	1,398人	1,360人	1,360人	▲229人	
海外	4,031人	3,838人	3,838人	3,678人	3,776人	3,776人	▲62人	
人員	5,640人	5,427人	5,427人	5,076人	5,136人	5,136人	▲291人	

業績見通し(3)営業利益増減分析

金額単位：百万円



注意事項

1. 本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいた見通しであり、為替などの潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは異なる結果となり得る事をご承知おき下さい。
2. 本資料に記載されている金額は、百万円は単位未満を切り捨て、億円は単位未満を四捨五入して表示しております。